



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岸川 和久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 友石 敏也

四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,949	△2.9	△220	—	△181	—	△130	—
25年3月期第1四半期	4,065	2.5	△100	—	△63	—	△47	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △144百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	△11.61	—
25年3月期第1四半期	△4.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第1四半期	18,006	77.3	13,920	77.3	77.3
25年3月期	18,855	75.0	14,132	75.0	75.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,920百万円 25年3月期 14,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,600	7.6	220	6.5	260	3.7	155	1.1	13.83
通期	23,500	12.2	600	19.4	670	17.7	440	70.5	39.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	11,200,000 株	25年3月期	11,200,000 株
26年3月期1Q	494 株	25年3月期	494 株
26年3月期1Q	11,199,506 株	25年3月期1Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、株式会社シィ・エイ・ティの子会社化やアウトソーシング業務の増加によりシステム運用管理業務が増加しましたが、システム構築業務及びシステム機器販売において金融機関向けは堅調に推移したものの自治体・一般法人向けが減少した影響が大きく、売上高は3,949百万円と前年同四半期比115百万円（2.9%）の減収となりました。

また、損益面につきましても、減収の影響に加えて原価率が上昇したことから、営業損失は220百万円と前年同四半期比120百万円の減益、経常損失も181百万円と前年同四半期比117百万円の減益、四半期純損失も130百万円と前年同四半期比82百万円の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループを含む金融機関向けシステム構築業務及びシステム機器販売が堅調に推移したことを主因として、売上高は1,275百万円と前年同四半期比108百万円（9.3%）の増収となりました。

② 公共関連部門

大手ベンダー向けシステム構築業務が増加する一方で、自治体向けのシステム構築業務及びシステム機器販売が減少したことから、売上高は856百万円と前年同四半期比148百万円（14.8%）の減収となりました。

③ 産業関連部門

本年4月に子会社化した株式会社シィ・エイ・ティの売上高計上によりシステム運用管理業務が増加しましたが、システム構築業務及びシステム機器販売が減少した影響が大きく、売上高は1,817百万円と前年同四半期比75百万円（4.0%）の減収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比848百万円減少して18,006百万円に、純資産も前連結会計年度末比212百万円減少して13,920百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.4%増加して77.3%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月13日に発表いたしました第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は、平成25年4月8日付で株式会社シィ・エイ・ティの発行済株式の全部を取得し、連結子会社としたことにより、連結子会社がケーシーエスデータ株式会社1社から2社に増加しております。

また、平成26年3月末を目処として、ケーシーエスデータ株式会社と株式会社シィ・エイ・ティを合併させる予定としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,008	3,173
受取手形及び売掛金	4,835	2,555
有価証券	3,300	4,300
商品	177	182
仕掛品	207	717
貯蔵品	15	17
その他	1,199	857
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	12,737	11,796
固定資産		
有形固定資産	3,472	3,595
無形固定資産	448	522
投資その他の資産		
投資有価証券	1,422	1,402
その他	821	736
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	2,196	2,092
固定資産合計	6,117	6,210
資産合計	18,855	18,006
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505	965
未払法人税等	66	17
賞与引当金	789	283
受注損失引当金	6	2
その他	961	1,310
流動負債合計	3,329	2,579
固定負債		
退職給付引当金	356	359
役員退職慰労引当金	95	85
その他	941	1,062
固定負債合計	1,393	1,507
負債合計	4,723	4,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,660	9,463
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,943	13,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	173
その他の包括利益累計額合計	188	173
純資産合計	14,132	13,920
負債純資産合計	18,855	18,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,065	3,949
売上原価	3,268	3,247
売上総利益	796	701
販売費及び一般管理費	896	922
営業損失(△)	△100	△220
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	23	17
不動産賃貸料	15	16
助成金収入	10	16
雑収入	3	3
営業外収益合計	53	54
営業外費用		
支払利息	7	6
不動産賃貸費用	7	8
雑損失	1	—
営業外費用合計	16	14
経常損失(△)	△63	△181
税金等調整前四半期純損失(△)	△63	△181
法人税等	△15	△51
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△47	△130
四半期純損失(△)	△47	△130

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△47	△130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△14
その他の包括利益合計	△89	△14
四半期包括利益	△137	△144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137	△144

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,167	1,004	1,892	4,065	—	4,065	—	4,065
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	1	115	118	—	118	△118	—
計	1,168	1,006	2,008	4,183	—	4,183	△118	4,065
セグメント利益又は損失(△)	218	82	113	415	—	415	△516	△100

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△516百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,275	856	1,817	3,949	—	3,949	—	3,949
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	136	136	—	136	△136	—
計	1,275	856	1,953	4,086	—	4,086	△136	3,949
セグメント利益又は損失(△)	218	33	74	326	—	326	△547	△220

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△547百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用及びのれんの償却額等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「全社」のセグメントにおいて、株式会社シィ・エイ・ティの株式を取得したことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては118百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。